

2018 年度
RIDING SPORT CUP
MOBARA
MOTO WEST S-1 GP

特別規則書

■ 主催(有)茂原ツインサーキット ■

2018年度
RIDING SPORT CUP MOBARA MOTO WEST S-1 Grand Prix
特別規則書

第1章 総則

第1条 競技会の名称 2018 ライディングスポーツカップ茂原モトウエストエスワングランプリ

英文表記 : 2018 **RIDING SPORT CUP** MOBARA MOTO WEST S-1 Grand Prix

第2条 競技会の開催クラスと開催数および昇格基準

- 1) ビギナーキッズ (PB・74 バイクデビューの初心者対象)
- 2) PBノーマル
- 3) PB・74 Daijuro オープン ***シリーズ対象**
- 4) **4ST50cc スクーター**
- 5) MOBARA MiniMoto OPEN (4スト) ***参加車両** エイブ・XRモタード・KSR・グロム
- 6) MOBARA レディースクラス
- 7) **M4 チャレンジ (ミニバイク 初心者 41秒台~) 注2**
- 8) **M3 エンジョイ (ミニバイク 初級 40秒~38秒台まで) 注1**
- 9) **M3 エンジョイ40 (ミニバイク 40歳以上の方。40秒~38秒台まで) 注1**
- 10) **M3 (ミニバイク 初中級 37秒000~37秒999台まで) 注1**
- 11) **M2 (ミニバイク中級者 36秒000~36秒999台まで) 注1**
- 12) **M1 (ミニバイク上級者 34秒~36秒499まで) *シリーズ対象**
- 13) NSF100HRC トロフィー ***シリーズ対象**
- 14) GROM CUP HRC トロフィー ***シリーズ対象**
- 15) S-1 ビギナー~フレッシュマン ***注1・注3 *37秒500まで、36秒台は賞典外**
- 16) S-1 PRO エキスパート ***注3 *シリーズ対象**
- 17) **ターミネーターミニ 旧名: スーパーモト**
- 18) **JRSA F4 (サイドカー) *シリーズ対象**

ギア付は2スト100ccまで(レーサーエンジン仕様車は85ccまで)・4スト150cc以下。CBR150YZF-R15など参加可
スクーター(S-1車両)2スト200cc以下・4スト240cc以下。安全規定と上限排気量を守ればどんな車種も参加可。

***注1: 決勝レース中に基準タイムを超えた場合は次戦より昇格とする。**

<公式練習、TTにて規準タイムを大幅に超えている場合、競技長判断で昇格させる場合がある>

***注2: M4チャレンジは、レース初めての方のレースです。決勝中に40秒台に入った場合は賞典外となります。**

***注3: S-1GP 規則に準ずる。**

***クラス昇格後、2戦連続で基準タイムを超えない場合、降格クラスへ戻る事を任意で可とする。**

***上位クラスに基準タイムを記録する前に参加することは可とするが、基準タイムの1秒落ち以内を記録している事が条件とし、大会主催者の判断によるものとする。**

***昇格・降格する際は、必ず主催者へ申告したのちにエントリーする事。**

上記のクラス数において、全5戦開催とする。

第3条 開催場所、開催日

〒297-0044 千葉県茂原市台田 640 茂原ツインサーキット 西コース（700m）

第1戦 3月4日 第2戦 5月13日 第3戦 7月8日 第4戦 8月26日 第5戦 11月25日

第4条 大会会場及びオーナイザー名称と住所

大会会場：茂原ツインサーキット 西コース

オーガナイザー：(有)茂原ツインサーキット

〒297-0044 千葉県茂原市台田640

電話 0475-25-4433 FAX 0475-25-4442

第5条 大会組織委員会及び審査委員会

特別規則書付則にて示す。

第6条 大会役員及び競技役員

特別規則書付則にて示す。

第2章 参加申し込み

第7条 参加資格 ※全クラス

健康かつレースに出場するに相応しい装備（注）と良識的判断ができる者。

フラッグの意味を理解し、サーキットのルールとマナーを守れる者。

サーキット走行未経験者の場合、レース前に茂原ツインサーキットの練習走行にご参加できる者。

注：革製のツナギ・ブーツ・グローブ、フルフェイスヘルメット、脊椎パッド、ヘルメットリムーバー
チェストプロテクターは、推奨とする。

（但し、キッズクラスはシューズ、布製のグローブ、一部布製の革ツナギを可とする）

※以下キッズクラスの参加資格

当該年度有効な千葉北発行のライセンス所持者。

各地のチャレンジカップレース・シリーズ戦レース参加経験者。

上記に該当しない方は、事前に茂原ツインサーキットの練習走行に参加の上で主催者から参加許可を得た者。

第8条 参加申込み受付期間

- 1) 大会開催日を含まず30日前より7日前までとする。
- 2) 参加申し込みは、現金書留郵便 東コース事務局宛、西窓口手渡しとし、締切り日必着とする（FAX 不可）。
- 3) 参加申し込みは、各大会のオーガナイザー（本規則 第1章 第4条参照）とする。
- 4) 参加申込みは参加料と保険料を添えて行き、併せて以下の書類に記入し提出しなければならない。
 - (1) 参加申込書（ホームページ <http://www.mobara-tc.co.jp/>よりダウンロードできます）
 - (2) 競技会参加に関する誓約書
 - (3) 車輛登録申告書

第9条 参加料（参加料と保険料は別記載）

- | | | |
|--|--------------|--------------|
| ① ビギナーキッズ（PB / 74 / TN） | :3000円*参加賞つき | *保険料¥500別途 |
| ② ターミネーターミニ 旧名:スーパーモト | :5000円*参加賞つき | *保険料¥500別途 |
| ③ PB ノーマル・PB オープン 74Daijro | :5000円*参加賞つき | *保険料¥500別途 |
| ④ M4チャレンジ・茂原レディース・茂原ミニモトオープン | :5000円*参加賞つき | *保険料¥500別途 |
| ⑤ 4st50cc スクーター | :6000円*参加賞つき | *保険料¥500別途 |
| ⑥ S-1・S-1PRO・HRC Trophy(GROM CUP・NSF100) | :7000円 | *保険料¥500別途 |
| ⑦ M3エンジョイ・M3・M2・M1 | :7000円 | *保険料¥500別途 |
| ⑧ JRSA F4 | :10000円 | *保険料¥500/人別途 |

* Wエントリーで参加する場合、2クラス目より¥1000円引きとする。

※大会7日前までに申し込み完了できなかった場合、遅延ペナルティ3000円が追加で掛ります（月曜日より）。

2018年度、ピットクルー登録には、以下の料金がかかります。

1人目 保険料¥500 登録料 無料 2人目 保険料¥500 登録料¥500

【 ライディングスポーツ保険加入者 】

*ライディングスポーツメンバー（保険）加入の方は、保険料かかりません。

ライディングスポーツメンバー会員がピットクルー登録する場合、500円のピット登録料のみ必要となります。
できる限りライスポ保険加入を推奨いたします!!!

* 2017年度シリーズチャンピオン:1500円(登録料のみ)*保険料¥500 別途（1クラスのみ）

* シリーズチャンピオンはピットクルー1名につき、別途1000円掛かります(保険料含む登録料)

第10条 参加受理と参加拒否

- 1) 参加申込者に対して大会事務局より参加受理又は参加拒否が通知される。
- 2) 参加を拒否された申込者に対しては、参加料が返還される。
- 3) 参加を受理された後、参加を取り消す申込者に対して参加料は返還されない。

第11条 参加定員及び最低成立台数について

- 1) 大会運営上参加受付を制限する場合がある。その場合の優先順位は申込み順とする。
各クラスのレース成立台数は3台以上とする。10台未滿は、他クラスとの混走、別賞典になる場合有。
- 2) エントリーを受理したものには参加受理書を発行する。
参加受理書発行後、参加を取り止めた選手に対しエントリーフィーの返還は一切しないものとする。

第12条 ライダーズミーティング

- 1) タイムスケジュールに示された時間に、ライダーズミーティングを行う。
- 2) 必ず、ライダー本人が出席しなければならない。欠席・遅刻をした場合、失格までの罰則が科せられる場合がある。
- 3) 止むなく欠席・遅刻する場合は、事前に申請し、競技長の許可を受けなければならない。
*遅刻によるペナルティーとし、¥3000円とする。

第13条 参加車両

本特別規則書の安全規定およびその他の項目は以下の通りとし、準拠しているバイクであること。

- 1) GROM CUP / NSF100 クラスは各 HRCトロフィー特別規則書・車両規則に準拠している事。
NSF100 HRC Trophy Jrクラスは、ダンロップ指定タイヤとする。
- 2) S-1 PRO・S-1 クラスは、S-1GP 特別規則書・車両規則に準拠している事。
- 3) ポケバイ74クラスは、千葉北 Kid's 選手権 特別規則書・車両規則に準拠している事。
- 4) 4st50ccスクータークラスのレギュレーションは、安全面、戦力バランス等を考慮し、
シーズン途中でレギュレーションを変更する場合がある

第14条 ゼッケンについて

ゼッケンベースの色については自由とするが、見やすい書体・色とし・蛍光色・淡い色・メタル調などの使用は禁止。主催者判断で改善を求める場合がある。希望ゼッケンの場合は、事前に事務局に確認をする事。

3面（アッパーカウル・両サイドシートカウル）に貼付け、走行前車検で合格になった物のみ使用可

2018年度よりゼッケンは各自作成とする。販売について1枚¥400円 3枚 1セット¥1000円にて事務局で販売

<文字サイズは、最低高（H）140mm 最低幅（W）80mm（1番などの1桁は最低幅 25mm）

[安全規定とは]

- レバーやステップの先端、マフラーの出口なども含め突起物が危険な状態でないこと。
 - ガソリンやオイル、ラジエター液が大気放出されない処置がされていること。
 - 不要なステー類がむき出しになっていないこと。●チェーンガードが確実に装着されていること。
 - 外装が確実に装着されていること。 ●主催者が危険と判断しないこと、などです。
- *ナンバー・保安部品は必ずとる事。

第3章 競技に関する規定

第15条 競技内容

- 1) 競技とは参加受付、公式車検、ライダーズミーティング、開会式を含む。
- 2) ■公式練習 7分（但し、参加台数などで変更になる場合あり）
- 3) ■タイムトライアル(予選ヒート) 7分間計測（但し、参加台数などで変更になる場合あり）
- 4) ■決勝ヒート ビギナーキッズ 3周 ・ PB ノーマル/PB74 オープン 10周、M4 チャレンジ 6周、
ターミネーターミニ・4st50スクーター 7周、その他10周 / S-1 PRO / M1 クラスは、12周とする。

*M3・M2・S-1 ワイルドカード特別推薦枠は、2018年度も開催。（但し、参加台数などで変更の場合有）

ワイルドカード参加の場合、最後尾スタート、賞典外とする。

ワイルドカード参加については、強制ではなく任意で参加可能となります。

第16条 スタート

- 1) 各クラス、スタンディングスタートとする。ウォームアップに間に合わない者やスタート時にグリッドよりスタートできなかった者は、ピットスタートとする。
- 2) 全てのライダーは、タイムトライアルに参加しなければならない。
タイムトライアルに参加しない場合は、タイムトライアル失格とし、決勝ヒート最後尾スタートとなる。
- 3) 全てのクラス共に、決勝ヒートは、1周もしくは2週のウォーミングラップの後、コントロールラインよりスタンディングスタートとする。

- 4) スタートの合図はシグナルで行い、全車一斉にスタートするものとする。但し、シグナルが不備な場合は、フラッグで合図する場合がある。
- 5) スタート後、先頭の車輛が1周し、スタートラインを通過するまでにスタートできない者は、当該ヒートを出走することはできない。
- 6) ピットスタート
ピットスタートとは、本コースよりスタートすべき車輛全てが1コーナーに進入し終えた後、旗またはシグナルによって、ピットロードコントロールライン上よりスタートすることを言う。
- 7) フライング
フライングした者に“PS”と書かれたボードと共に黒旗を提示する。これを提示された者はピットインしなければならない。コントロールタワー下で一旦停止後レースに復帰する事ができる。
- 8) 中断
フォーメーションラップ開始後、複数台以上の故障車またはトラブルが発生した場合は、競技長の判断のもと赤旗を用いて当該フォーメーションラップを中止する場合がある。

条17条 フィニッシュ

各レースの1位の者がチェッカーフラッグを受けてから2分でレースを終了する。完走者のみを入賞の対象とする。完走者とは1位の3分の2以上を走行していなければならない。

第18条 順位の設定

- 1) 順位は、チェッカーを受けた順によって決定する。コントロールラインを通過する時はライダーとマシンと一緒に通過しなければならない。(押しで通過してもよい)
- 2) レースの順位は次の順序により、周回数の多い順に決定される。
 - (1) チェッカーを受けた完走者(規定周回数の2分の1以上を完了しチェッカーを受けた者)
 - (2) チェッカーを受けない完走者(規定周回数の2分の1以上は走行したが、チェッカーを受けなかった者)
 - (3) 不完走者(チェッカーに関わらず、規定周回数の2分の1以上を完走していない者)
 - (4) 同一周回数の場合は、その周回を先に完了(コントロールラインを通過)した者を優先する。
但し、共に0周回の場合はグリッド順による。
- 3) レースは着順によるものとし、計時を行わない場合がある。
- 4) 同一周回数の場合はコントロールラインの通過順による。

第19条 レースの成立

茂原モトウエストGPの成立は、各クラス区分ごとに3台以上の車輛が出場しなければならない。

但し、10台未満のクラスは、混走賞典別となる場合があります。(オーガナイザー判断とする。)

レースは1位の者が規定周回数の3分の2以上を周回した時点で成立とする。従って3分の2以上を周回した場合の赤旗などによる途中中断は、その前週の着順をもって成立とする。3分の2以前で中断した場合、以下のいずれかの方法で再スタートする。

- 1) 中断以前の順位、ペナルティー等すべて無効とし規定周回数により再スタートする。
- 2) 中断の前週の順位により、スターティンググリッドを決定し、残り周回数のレースを行う。この場合、再スタートに伴うサイティングラップも周回数として計算する。

3) 大会審査委員会が競技続行不可能と判断した場合、中断の前週の順位をもってレース終了とする。

この場合のシリーズポイントは規定の半分（小数点四捨五入）を与える。

第20条 再車検（抗議があった場合、又は抜き打ちの場合のみ行う）

レース終了後入賞車輛を、車輛保管する。また、入賞車輛はエンジンを分解し排気量を測定するほか、規定を超える改造などについて検査を行う。参加者は車検長の指示に従い分解し検査に出さなければならず、これに拒否する場合には失格となる。検査の結果において規定に反する事項があった場合は失格とする。

第21条 公式練習及びレース中における規則

- 1) 公式練習は、正当と認められる理由がない限り、必ず出走しなければならない。また、出走が不可能な場合は不出走届けを大会事務局へ提出しなければならない。
- 2) コースは常に先入者を優先とし、追い抜きする者は前方の車を妨害してはならず、また前方の車は後方の車の進路を無理に妨害してはならない。
- 3) 大会役員が違反、妨害行為（プッシング、ブロッキング、その他の非スポーツマン的行為）とみなした者にはペナルティーを科す。さらにその行為が2回以上に及ぶ時は競技失格とする。
- 4) いかなる場合においても逆走してはならない。但し、コース役員の指示がある場合は除く。
- 5) レース中やむを得ない場合を除き、コースを外れてショートカットをする事は認められず、当該行為はペナルティーの対象となる。
- 6) 衝突を避ける為にやむを得ずコースアウトした場合はその最も近い場所からコースに復帰しなければならない。
- 7) スタートを含めてレース中にコース内に停止した車輛の選手は他の選手に自分が動かないことをアピールし、それらが通過した後に車輛を安全な場所に移動しなければならない。
さらに他を妨害することなく自力で再発進出来る場合のみレースに復帰できる。
- 8) コース上における再発進などは自分自身のみが行うこと。また、選手は出走時工具などを携帯してはならない。
- 9) 選手が修理の為ピットに向かう場合コース沿ったグリーン上を周回方向にのみ車輛を押して移動する事ができる。
- 10) コース上でリタイヤする選手はコース外の安全な場所に車輛を移動しレース終了まで待機すること。
また、近くのコース役員にリタイヤの届けを出す事。
- 11) ピットイン・ピットアウトは決められた場所で行わなければならない。イエローラインカットは失格とする。
- 12) レース中にパドック（ショートカットを含む）に入った車輛はレースを放棄したものとみなし再びコースに入ることは許されない。
- 13) レース中に事故などに遭い故障があると思われる車輛は安全検査の為、役員により停止を命じられる場合がある。
また、危険とみなされた車輛はレースから除外される場合がある。
- 14) 参加選手の補助に関してはコースマーシャルのみが対応する事ができる。レースがスタートしてからピットクルー（親権者等）などがコース内に入った場合には参加者にペナルティーを課すことがある。
- 15) レース進行中の大会役員及びコース員の裁定に対しての抗議は、これを一切受け付けない。

第22条 その他競技に関する一般事

- 1) スタート合図は、オーガナイザーの旗または信号を用いる場合がある。
- 2) コースアウトに対するペナルティーは競技長の判断による。
- 3) 走路審判員が反則または妨害行為とみなした者については、ペナルティーを科す。
さらにその行為が2回以上に及ぶときは失格とする。

- 4) ライダーサインは次の通りとし、これを怠った者についてはペナルティーが科せられることがある。
- ①コース上で停止した場合のサインは、片手を頭上に高く上げる。
 - ②ピットイン・ピットアウトのサインは左手を頭上に高く上げる。
 - ③スローダウンするライダーは、左手を高く上げる。
- 5) 公式練習、タイムトライアル及びレース中（フォーメーションラップを含む）コース上で停止した場合は、他を妨害することなく、自力で再発進できる場合にのみレースに復帰できるものとする。
- 6) レース中は、コースを外れてショートカットまたは、パドックに戻ることは認められず、当該行為はペナルティーの対象とする。
- 7) 公式練習、タイムトライアル及びレース中（フォーメーションラップを含む）にリタイアしたライダーは、自分の車両を速やかに安全な場所に移動し、そのヒートが終了するまで車両から離れてはならない。
また、その際に、ヘルメットは着用していること。
- 8) 競技中の燃料補給は禁止とする。
- 9) 消火器の携帯
各ライダーは全ての競技において、下記の条件を備えた消火器を1本以上備えていなければならない。
また、ピット・パドックでの火気厳禁の徹底に努めなくてはならない。

第23条 レースの終了

レース着順1位の者がフィニッシュライン通過後2分以内にバイクが自力で同ラインを通過した者はそのラップが加算される。

第4章 ピットに関する事項

第24条 ピットイン

ピットインする場合は、ピットロードを徐行しなければならず、かつ必ずピットストップしなければならない。
これに違反した場合は、当該ヒート失格となる。

第25条 ピットでの作業

ピットは指定された場所を使用しなければならない。また、ピット内で作業し得る者は当該クラスに出場しているライダーとピットクルーのみとし、ピットクルーは指定されたクレデンシャルを装着しなければならない。走行中のライダーに対してピットサインを送る場合は、ピットクルー1名に限り、各自のピットエリア内においてのみ表示することができる。各セッション中に燃料の補給をしてはならない。

第26条 ピット内

ピットにおける火気の使用禁止する。燃料容量は20リットル以内消防法に適合した金属製携行缶でなければならない

第27条 車両保管

レース終了後の車両保管及び検査は、次の通りとする。

- 1) 全車両保管を行う（再車検は特定しない）。保管が解除になったバイクは速やかに引き取らなければならない。
- 2) 保管時間は15分以上、所定の場所で行なわれる。
- 3) 技術委員はスタートした全ての車両に関し、再車検を行う権限を保有するものとする。
技術委員が検査を行う際ライダーもしくはその代理人が責任を持って車両の分解及び組立を行わなければならない
但し関係役員、ライダー及び代理人以外は車検に立ち会うことはできない。
- 4) 技術委員が行う本条項の再車検に応じない場合は失格とされる。上記に対する違反は、競技長によって警告され、大会審査委員会によりペナルティーが科せられる場合がある。

第5章 ペナルティに関する事項

第28条 ペナルティ

- 1) ペナルティは次の8種がある。
 - (1) 警告 (2) 罰金 (3) タイムペナルティ (4) ポイントペナルティ
 - (5) ラップペナルティ (6) 順位降格ペナルティ (7) 失格 (8) ポイントの剥奪及び出場停止
- 2) 警告は、その必要ありと認められた軽反則に対して発せられる。
- 3) 罰金は、成績に対するペナルティまでに至らない程度の違反に適用される。
- 4) タイムペナルティは、音量測定結果によりタイムトライアルに適用される。
- 5) ポイントペナルティは、失格にならない程度の違反に対し、予選ヒート及び決勝ヒートに適用される。
- 6) ラップペナルティは、失格にならない程度の違反に適用する。
- 7) 順位降格ペナルティは、失格にならない程度の違反に対し、予選ヒート及び決勝レースに与えられる。
- 8) 失格は下記の反則行為に科せられる。
 - (1) 違法または不当に得たアドバンテージ。
 - (2) 故意に自己または他人の安全をかえりみることなく行う危険行為。
 - (3) 与えられたオフィシャル指示を故意に無視した場合に科せられる。
 - (4) 与えられたフラッグサイン無視。
- 9) ポイントの剥奪及び出場停止は、下記の反則行為に科せられる。

本大会及び他のコースにおいて重大な違反を犯したライダーに対して適用される。

第6章 抗議に関する事項

第29条 抗議

参加者は自己が不当な処置をされていると考えられる時、競技長を経由し大会審査委員会あてに理由を明記した文書によって抗議することが出来る。また、抗議に対する裁定は大会審査委員会が下したものを最終決定とする。主催者の判定に異議がある場合は、書面をもって抗議料を添付の上、競技長を経由して大会審査委員会に提出するものとする。

抗議提出の時間制限

- ①競技に関する抗議：当該、暫定結果発表後20分以内
- ②車両に関する抗議：自己のバイク車検終了後15分以内。

第30条 抗議料 ￥5000円

第7章 成績及び賞典に関する事

第31条 成績決定および賞典。

- 1) 決勝ヒートの順位により決定する。
- 2) 3台未満の場合、他クラスと混走したクラスは、楯の授与のみ。正賞および副賞は無いものとする。

***3台未満のポイントについては、半分のポイントとする。**
- 3) PB・74Daijro オープンは、PB、74各クラス該当車が5台以上の場合、別表彰する。楯の授与のみ
- 4) **M4チャレンジ** , **M3エンジョイ** , **M3** , **M2** , **M1** クラスは総合表彰とする。

各クラスの賞典内容は盾等の正賞及び副賞とする。

5)出走台数により賞典を制限する。(別表 賞典表を参照)

賞典表

出走台数	3~4	5~7	8~11	12~16	17~20	21~
賞典	1位まで	3位まで	4位まで	5位まで	6位まで	7位まで

第32条 シリーズ得点基準 ※対象レースのみ

シリーズレースとして開催された全 5 戦の全てのポイント合計によりシリーズ順位を決定する。

- シリーズの成立は、5 戦中 4戦が成立しない場合は、年間シリーズの賞典はあてはまらない。
- シリーズ対象者は、5 戦中 3戦に出場しなければシリーズポイントは無効とする。
- シリーズ対象クラスは、年間を通じて平均4台以下の場合、シリーズ賞典ではなく特別賞典となる。全て、小数点切り捨て。

第8章 得点

第33条 得点基準

本レースのライダーに対して与えられる得点は、下表(A)の得点基準を適用する。また、最終戦は 1.25 倍(小数点以下四捨五入)のポイントが加算される。得点は、決勝レースの完走者にもみ与えられ、不完走者及び失格者、不出場者には与えられない。

表(A)ポイント

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位~
ポイント	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1
最終戦 1.25	25	19	15	13	10	8	7	5	4	3	1

第34条 シリーズチャンピオンの認定

上記第7章、第33条の得点基準により各部門の最高得点者を当該部門のシリーズチャンピオンとして認定する。

複数のライダーが同一の得点を得た場合は、各ライダーが得た上位の回数が多い順(1位の数、2位の数、3位の数、以下これに準ずる)に決定される。

順位と回数も同一の場合は、シリーズ最終戦で上位順位を得たものを上位とする。

尚、順位と回数でも同一でいずれもシリーズ最終戦に参加しなかった場合は、最終戦により近い競技会において上位順位を得たものを上位とする。

第9章 広告に関する事項

第35条 広告

- 1) ゼッケンプレートに広告を表示することは認めない。
- 2) オーガナイザーは、下記のものに対して抹消する権限を有し、オーガナイザーが認めたスポンサーのロゴステッカーの表示は、ライダーはこれを拒否することはできない。
 - (1) 公序良俗に反するもの。
 - (2) 政治・宗教に関連したもの。
 - (3) 本大会に関係するスポンサーと競合するもの。

第10章 その他の一般事項

第36条 損害の補償

- 1) 参加者は参加車両及びその付属品及びコースの施設、機材、器具に対する損害の補償責任を負うものとする。
- 2) ライダー、ピットクルーは、コース所有者及びオーガナイザー、大会役員が一切の損害賠償の責任を免除されていることを了解していなければならない。

第37条 オーガナイザーの権限

オーガナイザーは、下記の権限を有するものとする。

- 1) 参加申込みの受付に際して、その理由を示すことなく拒否することができる。
- 2) 大会冠スポンサーの広告を参加車両に貼付させることができる。
- 3) 止むを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの登録または変更について許可することができる。
- 4) 全てのライダー/ピットクルー及びその参加車両の音声、写真、映像などの報道、放送、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

第38条 大会の延期及び中止

オーガナイザーは大会の一部あるいは全部を延期、中止またはとりやめる事ができる。

天候などにより中止になる場合は事務手数料 1,000 円+保険料 ¥500 をさしひいた金額を返還される。

(ライディングスポーツ保険加入者は、事務手数料のみとする)

尚、ライダーは、これによって生ずる損失についてオーガナイザーに抗議する権限を保有しない。

さらに、オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て、大会の内容を変更する権限も併せて保有するものとする。

これに対する抗議は認められない。

第39条 公式通知の発行

本規則に記載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示、本規則発表後に生じた必要指示事項は公式通知掲示板にて示される。

第40条 誓約書の署名

ライダーは参加申込用紙に記載された誓約文に署名捺印しなければならない。

第41条 本規則の解釈

本規則の解釈並びに競技の細則に関する疑義については、事務局宛に質問できる。

第42条 本規則の違反

本規則に対する違反は、大会審査委員会の決定により宣告される。

第43条 本規則の効力

本規則は、参加申し込み受付と同時に効力を発する。

第44条 燃料

- (1) 通常のカソリンスタンドのポンプから販売されている無鉛ガソリンを使用しなければならない。
- (2) ガソリン及びエンジンオイルについて予告なく抜き打ち検査(タンク内の燃料を採取する等)を行う場合がある。
この場合、ライダーは必ずその指示に従わなくてはならない。尚、採取したタンク内の燃料を所定の検査機関に出した場合に違反が認められた場合、検査費用はライダーが負担するものとする。
- (3) オーガナイザーはガソリン及びエンジンオイルの銘柄指定及び給油方法を指定する場合がある。
この場合の詳細事項は公式通知に示す。

第45条 給油

レース中の給油は、特別規則に規定されている場合を除き、禁止される。ピットに燃料を保管する場合は消防法に適合した金属製の携帯缶に保管することとし、総量20リッター以上の燃料を持ち込んで서는ならない。

第11章 保険

第46条 保険

(1) 競技会に参加するライダーは下記のオーガナイザーが付保するバイクレースに有効な保険を含み、有効な保険に加入している事を大会事務局に申告すること。

(2) オーガナイザーの付保する保険の他に保険に加入することを推奨する。

大会事務局が府保する障害保険の内容及び保険金支払方法金額は、被保険者1名について以下の通りとする。

保険金額は被保険1名について次の通りとする。

(1) ライダー 保険金額 普通条件 500万円 (2) ピットクルー保険金額 普通条件 500万円

A 死亡保険 事故の日から180日以内に死亡した場合保険金額全額(普通条件)支払われる。

B 後遺症保険金 事故の日から180日以内に身体の一部をなくしたり、その機能を無くした場合は、その程度に応じて保険金額(普通条件)の下記割合で支払われる。

(1) 終身自由を行うことができない場合	100%
(2) 両方の眼が見えなくなった場合	100%
(3) 腕または足(関節より上部)をなくした場合	60%
(4) 両方の耳が聞こえなくなった場合	80%
(5) ソシヤクまたは言語の機能をなくした場合	100%
(6) 片方の眼が見えなくなった場合	60%
(7) 華を無くした場合	15~30%
(8) 片方の手の親指(指関節より上部)を無くした場合	20%
(9) 片方の耳が聞こえなくなった場合	30%
(10) 片方の耳を無くした場合	3~15%
(11) 片方の手の人さし指を無くした場合	8%
(12) 足の親指を無くした場合	10%
(13) 親指・人さし指以外の手の指を1本無くした場合	10%
(14) 親指以外の足の指を1本無くした場合	5%

前期の各号に該当しない不具廃疾については保険加入者の職業、年齢、身分、性別等に関係なく、身体の完全に破損程度に応じて、かつ前記各号の区分に準じて50%以内で保険金が支払われる。

C 入院保険金・通院保険金

障害の結果として平常の業務に支障をきたし、しかも医師の治療を要する時に支払われる保険金で平常の業務に従事する事が出来るようになるまで1日について、入院の場合5000円、通院の場合2500円が支払われる。

D 手術保険金 入院保険金が支払われる場合で、事故から180日以内にケガの治を治疾を目的に

手術を受けられるとき[入院保険金日額]×[手術の種類に応じてそれぞれ定められた倍率(10倍・20倍・40倍)]

E 付添看護保険金

入院保険金が支払われる場合で所定の状態になり、医師が付添を必要と認めた期間に職業付添者(入院先の病院

診療所と雇用関係にある者を除きます)を雇い入れたとき[入院保険金日額]×50%[付添者の雇用日数(ただし事故日から

180日以内の雇入日数が限定)]

F その他の規定

- (1) 入院保険金の支払いは180日を限度とする。 (2) 通院保険金の支払いは90日を限度とする。
- (3) 事故による傷害について後遺障害保険金と重ねて支払われる場合はその合算額を支払われる。
- (4) 健康保険、労災保険その他の給付には関係なく、保険金は支払われる。

G 保険金請求についての必要書類

- (1) 傷害事故の程度を証明する所定の医師の診断書 (2) 全治した時の医師の治療証明書 傷害時事故の場合
- (3) 死亡診断書および戸籍謄本 死亡事故の場合 (4) 競技長の事故確認書 傷害、死亡とも

2018年度 MOBARA MOTO WEST GP シリーズ表彰スカラシップ

シリーズチャンピオン	シリーズ 第2位	シリーズ 第3位
西コース1年間無料走行券	西コース 6ヶ月間無料走行券	西コース 3ヶ月間無料走行券

- 無料走行券の有効期間中のライダーは、保険料¥500円が別途掛かります。
 - シリーズチャンピオン対象者のみ、2019 茂原 MOTOWESTS-1 GP のエントリーフィー無料サポートとする。
- 但し、レース参加のライダーは登録料¥1500円、保険料¥500円 ピットクルー登録保険料¥1000円が別途必要となります

別表 賞典表

下記の2000円1000円割引券は全て1枚づつとなります。

21台～	優勝 楯 走行券 3枚	第2位 楯 走行券 2枚	第3位 楯 走行券 1枚	第4位 楯 2000円割引	第5位 楯 2000円割引	第6位 楯 1000円割引	第7位 楯 1000円割引
17～20台	優勝 楯 走行券 2枚	第2位 楯 走行券 1枚	第3位 楯 2000円割引	第4位 楯 2000円割引	第5位 楯 1000円割引	第6位 楯 1000円割引	
12～16台	優勝 楯 走行券 2枚	第2位 楯 走行券 1枚	第3位 楯 2000円割引	第4位 楯 1000円割引	第5位 楯 1000円割引		
8～11台	優勝 楯 走行券 1枚	第2位 楯 2000円割引	第3位 楯 1000円割引	第4位 楯 1000円割引			
5～7台	優勝 楯 走行券 1枚	第2位 楯 2000円割引	第3位 楯 1000円割引				
3～4台	優勝 楯 1000円割引						

「 2018 年度 MOBARA シリーズ表彰式について 」

毎年恒例の表彰パーティーは 12 月 24 日(月) 夕方 18:30~を予定しています。
シリーズ上位3選手・チャレンジポイントランキング上位3選手が表彰対象となります。

S-1PROクラスへ昇格者、M1クラスへ昇格者、
表彰パーティーにご招待いたします!

茂原で開催されているシリーズランカー達が一堂に集まる表彰パーティーです。
豪華商品の抽選大会・楽しいアトラクション等も有り!シリーズチャンピオン目指してがんばりま
しょう!!!

———— チャレンジポイントランキング 対象クラス ————

ターミネーターミニ / 4st50cc スクーター / M2 / S-1

———— シリーズ対象クラス ————

PB74 ダイジローOPEN / GROM CUP HRC Trophy / NSF100 HRC Trophy
M1 / S-1 PRO / JRSA F4

———— スカラシップ シリーズ賞典内容 ————

シリーズ優勝

2019 年度 1年間無料走行を茂原がサポート&2019 年度エントリー無料

参加申し込みには別途、登録料・保険料・ピットクルー登録料が掛ります。

但し、該当クラス 1クラスのみ

シリーズ第2位 6ヶ月間無料走行券 (保険料が掛ります)

シリーズ第3位 3ヶ月間無料走行券 (保険料が掛ります)

———— 特別賞典内容 ————

年間を通じて平均4台以下(小数点切り捨て)のシリーズ対象クラスは、特別賞典に変更し授与する。

シリーズランキング 1 位の選手…無料走行券 5枚*1 年間無料走行の授与はございません。

2 位の選手…無料走行券 4枚 3 位の選手…無料走行券 3枚

2018年1月26 日 変更

2018年 2月1日 実施